

クローンで保存している！

「稀」

父島に残り約40本
小笠原全体でも
約200本！



ハートの葉



昔使われていた建物の「柱」

多くの島民に「愛」され、
身近だった木

小笠原の
シンボルに
なる！

オガグワ ってこんな木！



「大」きく成長し、



材としては非常に

「高」価なものだった。



母島石門のオガグワ



父島「桑の木山」にあるオガグワの切り株
いったい何メートルあったんだ！？

〇〇鑑定団にて、
碁石ケースと机で、数百万円の鑑定！！？



オガグワ通信

No. 1



返還50周年記念オリジナル手ぬぐい
“小笠原50選”のモチーフになっています。

小笠原村環境課 04998-2-3111

小笠原諸島返還50周年

オガグワが内地からやってくるまで

今秋に植栽予定のオガサワラグワは、父島、母島に
自生している木から枝を採取し、茨城県にある森林総
合研究所の林木育種センターにて組織培養したクロー
ン苗です。

この苗は、返還50周年を迎えた今年最初のおが丸を
皮切りに、瓶に入った状態で続々と届き、4月までに
父島に100本、母島に40本余りの苗が里帰りしました。

里帰りした苗は、運搬途中に傷ついたり、病気など
により何本かはダメになっていますが、父島と母島そ
れぞれで、村民の方にご協力いただき、小笠原の気候
と土にならしながら育成中です。



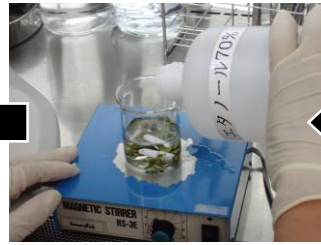
森林総合研究所 林木育種センターの皆さん



摘出した芽を生育中



顕微鏡で見ながら芽を摘出



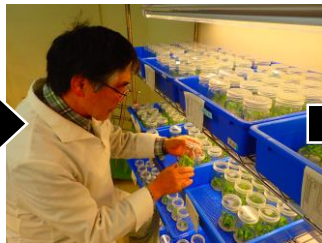
エタノールで殺菌



枝を切る



寒天培地へ移植



無菌室で育成



伸びた芽を観察中



母島と父島へ向けて梱包



育成中の父島苗（5月）



苗用の土作り（父島）



届いた苗を確認（父島）



手荷物で
到着



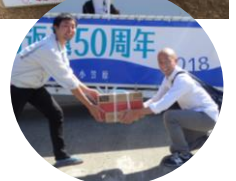
育成中の母島苗（5月）



育成中の母島苗（3月）



育成中の母島苗（1月）





オガグワ通信

No. 2



返還50周年記念オリジナル手ぬぐい
“小笠原50選”のモチーフになっています。

小笠原村環境課 04998-2-3111

小笠原諸島返還50周年

オガグワの苗が植えられるまで

返還50周年を迎えた1月から4月にかけて里帰りしたオガサワラグワのクローン苗は、父島では野生研、母島では星さん、綱島さんのご協力を得て、植樹される日まで大切に育てられました。

育成途中には、菌や害虫、病気にやられるなどして、葉が枯れたり、株ごとダメになったりしましたが、父島では67本、母島では20本のクローン苗が無事に植樹されました。



内地から届いてすぐの苗

父島苗



母島苗



害虫や病気との闘い

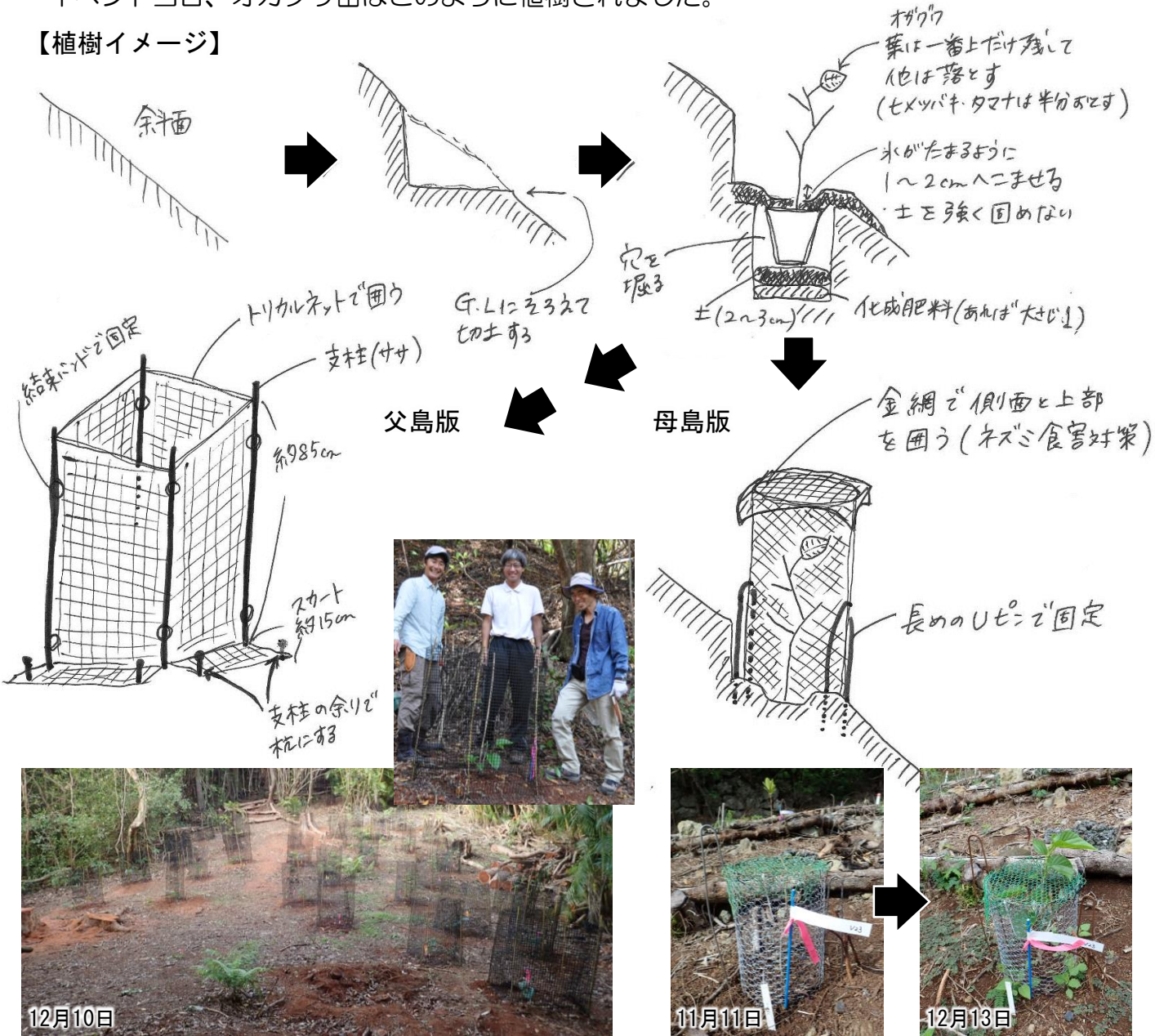


オガグワ苗に多大なご協力をいただいた方々
ありがとうございました！

オガグワ苗の植え方

イベント当日、オガグワ苗はこのように植樹されました。

【植樹イメージ】



弟島のオガグワ視察

(平成30年12月7日)

オガサワラグワの野生株が多数残る弟島では、岩場の上などの厳しい環境の中、オガグワが懸命に生育しています。また、東京都による保全の取組も進められています。



太い幹から出る若い枝



↑ 播種試験地



オガグワの大木 →